

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

529-582

事務事業名	道整備交付金事業(上村3号線)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	8	2	3	11	7	36,491
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
施策	44 交通機関と道路の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条列等		地域再生計画				
		事業期間	17	年度～	21	年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	通過車両 (対象指標と数値は総括表参照)	自動車交通量(台/日)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			200	250		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	通過車両が便利で安全に移動できる。(成果指標数値は総括表参照)	改良率(%)	18目標	53.6	最終目標	
			18実績	19.2	19目標	33.3
			23目標		23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	・地域再生計画により地域の活性化をめざして、道路を改良する事業であり、国の基準に従い幅員、歩道設置等を決定している。 上村3号線(下栗工区) H.17～H.21年度 L=1,500m W=5.0m 道路改良工事	上村3号線(下栗工区)道路改良工事 L=120m W=5.0m	施工延長(m)	120m
	18年度の実績	上村3号線(下栗工区)道路改良工事 L=212m W=5.0m	施工延長(m)	212m
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源	12,500	17,500
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債	5,000	17,500
	その他		
一般財源	7,500	0	
事業費計(A)	25,000	35,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 160	19年度 160
	臨時職員等所要時間	0	0
	人件費計(B)	572	572
	トータルコストA+B	25,572	35,572

特定財源内訳や補足事項	交付金補助率50% 過疎債 100%
-------------	-----------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	便利で安全に移動ができる。	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路)(%)	現状値	52.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	45
	市内の移動に不便を感じる市民の割合(交通機関)(%)		現状値	37.6	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	35	

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
本路線は、国道152号線から「下栗の里」及び下栗で生活する重要なアクセス路線で、観光道路としても交通量が増加している。しかし、幅員が狭く急勾配であるとともに法面崩壊により安全な通行が出来ない状態にあるため勾配修正、拡幅改良を行い交通の安全を図ることを目的とし旧上村で国補及び村単事業として整備を行い、H17年度より地域再生計画の認定を受け事業を実施する。	矢筈トンネルの開通や国道152号線の改良により多くの都市住民が訪れるようになった。	日本の原風景を残す「下栗の里」は、年間3万人の観光客が訪れ、また下栗で生活する住民にとっての生活路線であり、誰もが安全・安心して通行できるように道路整備を望んでいる。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がある (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	本路線について、地すべり区域であり工法協議を行いながら事業を実施する。 実施箇所について地元調整を行い見直しを図る。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	観光シーズン及び冬季の工事実施期間を考慮し事業を進める。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	